

本選進出は逃す。塩カン6位。—関東倶楽部対抗県予選—

関東倶楽部対抗予選(第1会場)は19日、南・北コースで18チームが参加して行われた。塩原カントリークラブは合計409で6位に食い込んだが、本選への出場権は逃した。

55歳以上4、年齢制限なし3人の計7人でチームを編成、55歳以上は上位3人、年齢制限なしは上位2人の計5人の合計スコアで、上位2チームに与えられる本選への出場権を争った。サンヒルズカントリークラブが397で優勝、準優勝の皆川城カントリークラブ401とともに6月14日に姉ヶ崎カントリー倶楽部(千葉)で開催される本選への出場権を獲得した。3位以下の順位は③芳賀カントリークラブ④日光カンツリー倶楽部⑤ディアレイクカントリー倶楽部=以上407⑥塩原カントリークラブ409--などの順だった。ベストスコア賞はAクラス天川主税選手(サンヒルズ)、野口政夫選手(佐野)75、Bクラス松本光央選手(鷹)76。

塩原カントリークラブのメンバーは次の通り。

井上雄選手、佐藤幸由選手、中井和彦選手、前田智選手、相馬義孝選手、菊池一郎選手、橋本和彦選手。
(敬称略・順不同)



LINE(ライン)開設、友達登録で平日無料プレー券ゲット。友達登録は 230 人を超える。

塩原カントリークラブは公式ホームページに加えて、LINE(ライン)公式アカウントを開設した。これは、塩カンファンにお得な情報やプレーに役立つ情報を迅速に届けて、ゴルフライフに役立ててもらおうというもの。

現在、平日無料プレー券などのクーポンをプレゼントする抽選サービスを実施し、友達登録を勧めている。クーポンは(1)平日無料プレー券(2)友達登録当日あるいは次回プレー日の1ドリンクサービス券の二つで、登録と同時に抽選が行われ、結果がその登録画面で確認出来る。

友達登録はクラブハウスに貼り出されている要綱にプリントされた QR コードを読み取り、LINEの公式画面から登録出来る。これまでの登録者はすでに 230 人を超えた。

10 月の国体に関する情報も盛り込んで行くことにしており、クラブ利用者と情報を共有して、国体を盛り上げるねらいも込められている。プレー前の空き時間に登録して、その日のドリンク代をゲットするのも可能。その日の運だめしとして、友達登録してみては。



どうする、妙案は！？南9番、枯れた赤松の代替わり。

県道脇の塩原カントリークラブの入り口表示やクラブハウス玄関に国体の女子ゴルフ競技の開催横断幕が掲げられ、国体の開催気分の盛り上がりを感じさせている。ところが、大会までに何とかしなければならない`難問、が持ち上がっている。メンバー、ビジター、老若男女かかわらず頭の痛い議論となっている。

それは、南9番ホールのグリーン手前に立っている赤松が松食い虫にやられ、枯れて赤茶けた無残な姿になってしまったから。クラブ側ではコースの美観上から、伐採して対応する方向で敢闘しているが、その後をどうするかが頭の痛いところ。

この赤松は、高さ10m近い大ききで、昨年暮れころから葉の色が部分的におかしくなり始めた。消毒で持ち直すと期待されたが、春の訪れとともに症状が悪化した。

ビギナープレーヤーから「伐採して芝を張ってたいらにしてくれれば枝に捕まることがなくなりありがたい」「ハザードか一つ減って好都合」という声上がる。しかし、このホールはティーランドからはかなりの打ち上げで、大きな松がなくなると、打ち出しの目標がなくなる。

二打目でもピンを狙うための方向、距離を測るために欠かせない。ハンディの少ないプレーヤーからは伐採して芝を張るだけでは納得してもらえそうもない。さらに国体では勝負どころの最終ホールだけに、選手から不評を買いかねない。

同じ高さの赤松などの樹木を移植して原状回復するとなると、経費が7ケタは下らないという。グリーン奥に樹木ではなく、先端に丸印をつけた表示柱を立てる、または枯れ枝に着色して急場をしのぐなど、プレーヤーの間で議論が尽きない。

このホールだけでなく、ヤーデージブックの中で、コース内で目標になっている赤松で、伐採されてしまったものも少なくない。このため、ブック制作会社では改訂版の制作を急いでいるという。やっかいな`赤松騒動、は尾を引きそうだ。



国体へ向けて。

県ゴルフ連盟、那須塩原市、塩原ゴルフクラブの三者は6月8日(木)、国体女子ゴルフ競技の実行委員会を開催する。コースの整備状況や選手団の受け入れ体制の確認などが行われる。すでに、石川、新潟、福井、香川、岡山などの選手団から練習ラウンドの予約が入っており、本番に向けて準備に拍車がかかりそうだ。



塩原カントリークラブ！攻略編！！【中コース】 — 中里 鉄也プロ —

☆ 中コース 4 番 ☆



【コース解説】

やや打ち下ろして緩やかな左ドックレッグのミドルホール

【中里プロからのアドバイス】

- 1 打目は、左OBで右は松林で右に向きがちでミスしやすい為、左松の右にアドレスをとりたい。
- 2 打目は、グリーンがうけて見える為にピン迄打っていきたいが…、やや打ち下ろしがある為、手前から攻めたい。
グリーンは手前から早い。

次回は、中コース 5 番を紹介します!!





那須の小天狗—小針春芳伝—⑮

井上 安正

真珠湾攻撃で太平洋戦争に入る前、プロの認定を受けた頃、小針春芳はある発想に行き当たった。「ボールに当たるのはクラブのヘッドだから、その動きが何よりも大切。ヘッドがボールをうまくとらえるには、構えた時と同じフェースの位置、フェースの向きで当たればいい。ヘッドを動かすのは、ボールに飛び出す勢いをつけたり、フェースを構えた向きに戻しやすくしたりするため、そうしなければ意味がない」と。海外ではボビー・ジョーンズが同じことを唱え、グランドスラムを達成したが、小針がそんなことを知る由もなかった。

小針がキャディーになって以来、根っこがついた棒きれで石ころを転がしたところから、反復練習の末につかんだ独自の発想だった。そう踏ん切りがいたら、球の性質を変えるのが楽になった。球の質とは、左右に曲げることや、弾道の高低のこと。基本は直角に構え、直角に当てること。ロフトを被せて構えて、被せて当てれば低くてランの出る球が出て、逆は高い球になる。スタンスを変えれば、ヘッドの軌道が変わるから、左右に曲げられる。

「要は開いて構えたら開いて当て、被せたものは被せて当てる。構えたままの状態にヘッドが戻ってくればいい」とわかった。小針はドライバーについて、「右手を離して打っている」と評されたことがあった。しかし、離してはいなかった。手のヒラがグリップから離れているだけで、指先でちゃんとグリップを握っていた。

「ワイは足も手首も関節がひどく硬かったから、林由郎のように手首を柔らかく使えず、手首の動きがぎこちなく、ヘッドもうまく操作出来なかった。それで、右手のヒラを離すようにして上げたら、人並みにコックが出来るようになった」

秒速四十五を越えるスピードで動くヘッドのフェースをアドレスと同じ所へ戻すには高い操作力がある。小針は練習量と発想力で、右手のヒラをあえて離すことが最良という結論に達した。「フェースを元に戻すと言っても、難しいことじゃない。神社で柏手を打つのに、空振りする人はいないだろう。手はキチンと元の位置に戻っている。コースに出てもお参りするような感覚で、フェースの元の位置と向きを覚えておけばいい。ミスの多い人は、覚えていないか、途中で忘れてしまうかだ。フェースはここに戻すと念じて振ってみればいい」と説いた。そこから先は、「いかに集中するか」ということになるのだろう。

小針は戦後しばらくして、那須ゴルフ倶楽部から何度も求められて専属プロに復帰したが、最初の1年はテスト期間にしてもらった。その間は那須ゴルフ倶楽部で毎日、ボールを打ち続けた。とくに、風雨の中で低い球を打つ練習をよくやった。「低い球は向かい風や横風に影響されにくいし、狭いホールや打ち下ろしで効果的で、「使い道が広いから」という。

トーナメントの3日あるいは4日の間には、強い雨の日も、風の日も必ず来る。そうした逆境を跳ね返せないと、勝てないと思った。とくに、日本オープンに勝たなかった。練習は独学で自己流だったが、「人から教わると身につかない。自分で考え、自分の練習で覚えた自分流の技術じゃないといざという時に使えない」と信じていた。

低いボールはティーを低くして、フェースの下の方でたたけとレッスン書にはある。しかし、万人にとってそれがいいわけではない。人それぞれに体力、関節の柔軟性が違う。人それぞれの条件があって、その中で反復練習をして身につけたものでなければ、役には立たない。



「ワイの場合は、ティーを低くすればどうしても手加減をしてしまい、飛距離が落ちる。強風の時でも自分流の感覚で振れて、低い球にならなければ意味はない」。強い風の中で打って打ち抜いてたどりついたのは、「クラブを若干、短くして握るだけでいい」というのがその秘策だった。

小針は戦場から帰って、6年間、田畑を耕しクラブを握っていなかった。それにしても、恥ずかしくないプロ復帰が出来たが、その理由は「ドライバーが思い通りに打てた」ことだったという。「72ホールで、ティーショットがラフに入ったのが1、2回というのが普通だった。ゴルフでは狙ったところへ球を持って行くために、高度な技術がいる。グリーンを狙うショットではなおさら。球のライが同じ時がないから難しい。だが、それが出来なきゃ試合には勝てない」と確信し練習を重ねた。

関西の戸田藤一郎、宮本留吉、関東の浅見録藏らの古参、中村寅吉、小野光一ら新進気鋭の若手の中で、小針が飛距離で勝てるのは、一人もいなかった。彼らに勝つためには、ドライバーからパターまで、ボールの飛距離を自在に制御出来るようにならなければならない。それを身につけるために、小針が取り組んだのが、真っ暗闇の中での素振りだった。一人で黙々とクラブを振る。次第に、「ヘッドがボールに当たる時の速度を変えれば、飛び出すボールの勢いも距離も変わる」と感じてくる。飛距離を変えるには、ヘッドが動く速度を変えればいいという確信につながる。

打っている格好を自分で見ることは、もともと出来ないが、暗闇の中では視覚そのものが休む分、聴覚が鋭敏になり、フォローでヘッドが空気を切り裂く音とスピードに相関関係があることに気付く。「ビュッ」なら速く、鈍くなるにつれて遅くなる。まったくの独学でそこから先を極めた。クラブを振って、音の強さ、長さ、響きを聞き分ける。それを繰り返していると、「ビュッ」と鳴った時の腕の振り方を、右手の先が感覚として覚えてくる。「ボールを制御するには、スイングアークを変えるのではなく、ヘッドスピードを変える」のが肝心だとわかった。

しかし、こういう感覚は頭で考えることではなく、練習で自分の体に覚え込ませることだ。「ヘッドの動きとフェースがボールに当たる向きで、球の性質を変える。これがワイの個性です。今は道具も情報もあふれるほどある。でも、自分流が作れない。自分で工夫して猛練習を重ねる。それが無い」と、今の若手への苦言も忘れなかった。



編集後記

南9番ホールの赤松騒動を聞いて、那須塩原市内に赤松材を使った経木（きょうぎ）を製造している工房があるのを思い出した。経木とは「お経を書いた薄い木の板」が原義だが、昭和の時代までは、ごく薄く削った経木は、納豆や柏餅など庶民的な和菓子、おにぎりなど生食品の包装材として必需品だった。しかし今では、昭和でも40年代以降に生まれた人のほとんどには、馴染みのない代物なのかもしれない。

現在、経木の製造しているのは、栃木県内で2軒だけという。経木作りは戦後間もなく機械化されたが、今では機械を製造元がないという。市内の工房は50年前から2台の機械を使い続けているが、これが壊れると修理不能という。機械を使っても、1ミリの経木の厚さを一定に保つ調整は職人技だそうだが、それも途絶えてしまう。

赤松材は滅菌、調湿効率がよく、香りも捨て難い。国体実行委員会は、この経木で作った曲げわっぱに詰めた弁当を、国体参加の選手・役員に振る舞うという。グッドアイデアだ。

井上安正

県北・日光版

- 読者室
TEL. 028(625)1179
- 大田原総局
TEL. 0287(20)1023
FAX. 0287(20)1024
- 日光今市総局
TEL. 0288(30)1023
FAX. 0288(30)1024
- 日光支局
TEL. 0288(50)1023
FAX. 0288(50)1024
- 那須塩原支局
TEL. 0287(67)1623
FAX. 0287(67)1624
- 矢板支局
TEL. 0287(40)1023
FAX. 0287(40)1024

環境に優しい弁当完成

那須塩原市・選手らに配布用

アカマツ材、曲げわっぱに

【那須塩原】渡辺知太郎市長は19日の定例記者会見で、10月のいちご二会とちき団体一周年中、市内競技会場で選手・監督らに配布する弁当が完成したと発表した。市が掲げる「ゼロカーボン・プラごみゼロへの挑戦」の一環として、那須塩原アソシエーションにあるアカマツ材の経木を使った曲げわっぱを「生漉し造」

いちご二会 国体・障入ボ

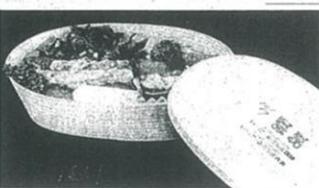
弁当の名称は「団体ロカボア弁当」。ロカボア（l'ocavoré）とは、地元を意味する「ローカル」に、食べる人を意味する「接度」にならんと見込んでいる。



弁当を試食する渡辺市長

弁当の調理は市内の弁当業者6社が担い、地元産の食材を多く使い、主食3種類（白飯、鶏そぼろと御養卵の二色丼、菜飯）、主菜4種類（鶏の照り焼き、鶏の唐揚げ、豚のしょうが焼き、ポークステーキ）のいずれかを白種ごとに組み合わせる。

市は同団体を環境に配慮した「ゼロカーボン団体」とするため、さまざまな取り組みを行っており、



市内の競技会場で選手・監督らに配布される「団体ロカボア弁当」

弁当箱もその一環。競技役員やボランティアの弁当箱は紙製とし、競技会場のごみ袋は植物・再生プラスチック由来のものとする。こうした取り組みによりプラスチックのみ1・1ト（二酸化炭素換算で3トン）の削減につながるといふ。記者会見前には市庁書内

（令和4年5月20日（金）下野新聞記事より抜粋）